

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30  
5月 6日 手話条例の制定  
5月13日 紀の国いきいき健康長寿祭  
5月20日 悪徳商法から身を守るために  
5月27日 知事と語る

県民チャンネル 月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド 毎月最終金曜 19:30~19:59

ラジオ 和歌山放送 WBS 県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。  
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00  
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

統合型リゾート(IR) シンポジウム

県民の皆様へ IR 導入の効果に関する正しい情報を提供するため、シンポジウムを開催します。

プログラム

- 基調講演 篠原文也氏 (政治解説者)
- パネルディスカッション [テーマ] IR 導入におけるメリットの最大化とデメリットの最小化



日時:5月19日(土) 13:00~16:00  
場所:ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市)  
定員:300人 (先着順)  
申込・問合せ:ハガキ、電話、FAX、Eメールで氏名、電話番号を5月17日までに 県庁企画総務課 FAX073-422-1812  
☐ e0201001@pref.wakayama.lg.jp WEB

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



君死にたまふことなかれ

有名な与謝野晶子さんの言葉です。日露戦争時、国民がロシア憎しで大変好戦的になっている時、それでも若者を死に追いやってはいけないという反戦のメッセージだったと思います。私はこの言葉を自殺者が出たという報に接した時に思います。つい最近も近畿財務局の職員が自殺したとのニュースを見た時思いました。きっと名状すべからざる辛い状況にあったが故のことと思いますが、自ら命を絶つ以外の途はなかったものかと暗たんとなります。

実は和歌山県は日本全体の平均よりも自殺死亡率の高い県なのです。高齢者も多いのですが、最近では若者の自殺も増えています。これは断然良くないことですから、目下県では『自殺対策計画』を考えて、何とか問題を抱えている人に生き抜いてもらおうとしています。いじめ、不登校への対応、相談体制の充実、経済的困窮者対策、精神保健医療サービスの体制整備、それに自殺未遂者への支援体制整備など多岐にわたりますが、さらに白浜で自殺を思い留まらそうという運動にずっと携わっている藤藪庸一さんのグループなど、多くの市民活動の方々とも協力していかなければなりません。

私自身人生の本当の修羅場をくぐり抜けてきたか疑問ですから偉そうなことは言えないのですが、高校生の諸君に講演をする時など、和歌山の宝物であるこの子達に万一のことが起きてはいけないと、いつも3つのことを言うことにしています。

一つめは「日々の感激に生きよう。」辛い事が続く中にも小さな喜びはあるはずだということです。

二つめは「いつか終わる。」絶望的になるような辛い事が続いても、それは、いつか終わるからということです。

そして三つめは「まあいいか。」失敗してくよくよしてつぶれるな、また別の良いことがあるよということです。

和歌山県知事 仁坂 吉伸